

## 横浜銀行様から「横浜こどもホスピス」へご寄附いただきます

横浜市では、<sup>いのち</sup>生命を脅かす病気の子どもや家族が社会から孤立しないよう、地域に開かれ、支えられる施設として、こどもホスピスの整備に民間事業者と共に取り組んでいます。

この度、**横浜銀行様から、地域貢献活動の一環として、整備運営事業者である特定非営利活動法人「横浜こどもホスピスプロジェクト」へ横浜こどもホスピス設立支援金 1,000万円をご寄附いただくことになりました。**

本市では、こどもホスピスの整備にあたって、市有地の無償貸与や事業費の一部補助を行っておりますが、更なる整備・運営費用の確保が課題となっています。

活動趣旨がより多くの方々に賛同され、支援の輪が一層広がるよう、引き続き、普及啓発活動を進めていきます。(※当該寄附に関する詳細は、別紙「横浜銀行プレスリリース資料『横浜こどもホスピスプロジェクト』への寄付について」をご参照ください。)

### 【参考：こどもホスピスについて】

#### ◆施設名

横浜こどもホスピス うみとそらのおうち

(所在地：横浜市金沢区六浦東一丁目 4853-3 (旧横浜市立大学男子学生寮跡地))

#### ◆主な活動内容(予定)

- ・利用者個々の病気・障害の度合いや希望に沿った遊びや学びの日中活動プログラムを提供(看護師や保育士などが作成)
- ・利用者やその家族同士の交流や季節のイベント等の実施
- ・地域の皆様や一般の方を対象とした「こどもホスピス」及び「小児医療」に関する講演会、ミニコンサートや季節のイベントの開催、地域行事への参加、ボランティア活動等

#### ◆開所予定

令和3年秋頃

#### ◆横浜市の支援

- ・市有地(約730㎡)の30年間無償貸付
- ・開所後当初5年間の事業費の一部補助(年間500万円を上限)

イメージパース



お問合せ先

医療局医療政策課長 山本 憲司 Tel 045-671-2438

## 「横浜こどもホスピスプロジェクト」への寄付について

コンコルディア・フィナンシャルグループの横浜銀行（代表取締役頭取 大矢 恭好）は、「横浜こどもホスピス うみとそらのおうち」の設立支援を目的に、NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト（代表理事 田川 尚登）への寄付をおこないますので、お知らせします。

こどもホスピスとは、生命を脅かす病気や障がいのあるこどもとその家族に対し、さまざまな領域の専門家が監修する安心・安全・快適な環境のもとで遊びや学びの機会を提供し、生活の質を向上させることを目的とする施設です。欧米では一般的な施設として普及している一方で、日本では対象となるこどもが約2万人いると言われているにもかかわらず、こどもホスピスはほとんど普及していません。

横浜こどもホスピスプロジェクトは、2021年秋のこどもホスピス開所に向けて横浜市や神奈川県などと連携し（※）、準備を進めています。病院に併設しないこどもホスピスとしては国内2例目となります。当行はグループの浜銀総合研究所とともに、その活動を支援してきましたが、このたび、当行創立100周年記念事業と位置づけ、本施設の設立支援のために1,000万円を寄付します。開所後の運営にあたっては、医療機関や教育機関等のほか、地域の住民や企業の方々と連携・協力し、地域全体で支えていきます。

横浜銀行は、今後も自治体と連携して、こどもたちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むとともに、地域のさらなる発展に貢献していきます。

（※）横浜市は、市有地を30年間無償貸付し、当初5年間は事業費の一部として、年間500万円を上限に補助します。神奈川県は、「かながわボランティア活動推進基金21」の協働事業負担金を交付しています。

### 【事業概要】

運 営 事 業 者	NPO 法人横浜こどもホスピスプロジェクト
施 設 名 称	横浜こどもホスピス うみとそらのおうち
建 設 予 定 地	横浜市金沢区六浦東一丁目 4853-3（旧横浜市立大学男子学生寮跡地）
事 業 内 容	日中平均2組の家族を受け入れ、日中の遊びや学びの支援・相談支援サービスを提供。

以上

